

PARK II Gyu

GK 71 PARK II Gyu  
朴一圭



Ryonosuke

FW 41 Ryonosuke KABAYAMA  
樺山 諒乃介



勇気を持って前へ進め!  
その先に  
勝利が待っている!

複数得点、逆転勝ち。2つの今季初で勝利を飾ったアウェイでの前節・京都サンガF.C.戦。先制点こそ許したものの、すぐさまFW小野裕二のゴールで追いつき、前半だけで3点を奪ってみせた。試合後、川井健太監督は「勝点3を取れたということ、次の横浜F・マリノス戦へ向けて良い材料として準備していきたい」と振り返った。その横浜F・マリノス戦がホームで迎える今節だ。

昨季Jリーグチャンピオンとなり、ケヴィン・マスカット監督体制3シーズン目となる今季も充実した戦いぶりを見せ、3位につける横浜F・マリノス。攻撃陣には、ゴールランキングトップのFWアンデルソン・ロベス

はじめ、FWエウベル、FWマルコス・ジュニオール、中盤にはキャプテンの喜田拓也、最終ラインには畠中楨之輔など実力者が揃う。第9節では首位・ヴィッセル神戸を3-2で破るなど強力なハイプレスから圧倒的な得点力を武器としている。

横浜F・マリノスとは今季、ルヴァンカップですすでに対戦している。この試合に途中出場したFW樺山諒乃介は「わかっていましたが、横浜F・マリノスはやっぱり強い。全員がチームのためにプレーしている」と振り返った。ゴールを守ったGK朴一圭も「誰が出てもチームの為にハードワークをいとわない」と話した。チームのために戦う献身性とハードワークならサガン鳥栖も負けてはいない。樺山は「チャンピオンチーム相手

もホームですし、鳥栖の良さを出して勝ち切りたい。チャレンジ精神があり、ミスを恐れずにプレーしもし誰かがミスをして、みんなで取り返す」と語った。さらに「ゴラツも決めたいし、ドリブルでチャンスメイクもしたい。そして、“ワクワクする選手がいる”と応援してくれる人に思ってもらえるようにがんばりたい」と意気込みを示した。

今節は連休中に行われる唯一のホームゲーム。朴は「チームはハードワークするところ、個人では見えて安心感を持ってプレーを見せたい」と語った。鳥栖らしいハードワークとチームの固い結束力は、横浜F・マリノスにも劣らない。王者相手に臆することなく、勇気を持って戦えば今季初の連勝に手が届く。

※成績はすべて第9節終了時点



チケットの  
購入はコチラ

NEXT HOME GAME

VS アルビレックス新潟

2023明治安田生命J1リーグ 第14節  
@駅前不動産スタジアム

5.20 [土] 17:00 KICK OFF



©1997 ALBIREX NIIGATA INC.

NEXT AWAY GAME

VS 川崎フロンターレ

2023明治安田生命J1リーグ 第12節  
@等々力陸上競技場

5.7 [日] 15:00 KICK OFF



©KAWASAKI FRONTALE